



SAP Ariba 

機能の概要

下請法対象のサプライヤに対する遅延なしの支払い

Johan Holm、ソリューション管理、SAP P&E

一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: 下請法対象のサプライヤに対する遅延なしの支払い

導入の難易度 ● ハイタッチ
対象エリア ● 国固有
日本

今までの課題

支払条件と請求書の期日は、通常、請求書の日付に基づいて計算されます。そのため、お客様の内部での請求書処理時間によっては、サプライヤへの支払いが遅れる場合があります。日本の下請法はこの問題に対処しています。この法令では、特定のサプライヤの場合、請求書の期日と支払条件の計算を商品の実際の納品日に基づいて行う必要があることが定められています。前回までのリリースでは、SAP Ariba システムにおいて、この要件に対応するための関連情報を受入プロセス中に取得してはいませんでした。

SAP Ariba で問題解決

日本の下請法の要件に対応するため、購買ソリューションで、受入プロセス中に関連情報を取得したり、納品日に基づいて請求書の期日および支払条件を計算したりすることができるようになります。

この法令が適用されるサプライヤ（ベンダマスタのフラグで識別されます）の場合、入庫時に納品日を入力できるようになります。サプライヤがこの法令の適用対象である場合は、請求書処理時に、計算の基準日が、オーダーに対して最も早く記録された入庫の納品日に設定されます。

主なメリット

この機能を使用すると、支払条件と請求書の期日を納品日に基づいて計算できるようになります。この機能は、日本の下請法による要件を満たすために必要です。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様がすぐに使用できますが、お客様が有効にする必要があります。

前提条件と制限事項

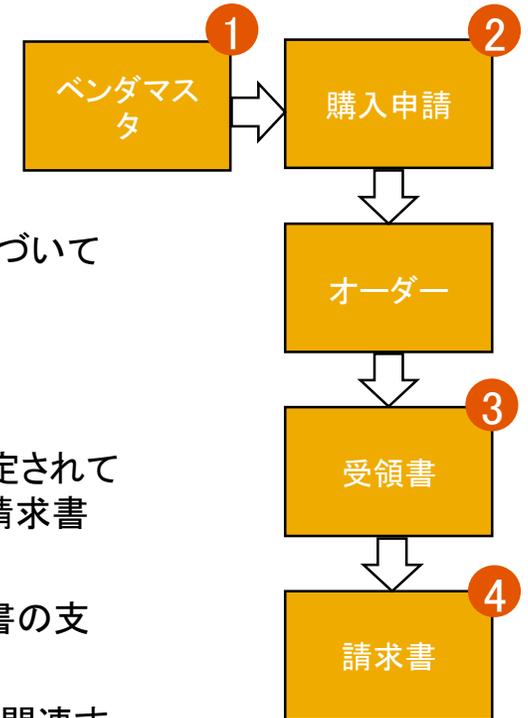
統合請求書はサポートされません。

機能の概要

概要: 下請法対象のサプライヤに対する遅延なしの支払い

この機能を導入すると、購入申請に対する複数の変更が請求書処理に追加されます。

1. [下請法対象] という新しいフラグにより、この法令の適用対象となるサプライヤを特定することができます。
2. [下請法対象] フラグ (はい/いいえ) は、購入申請明細レベルで表示されます。これは、サプライヤレコードに基づいて初期設定されています。このフラグは、ユーザーが変更できます。
3. [下請法対象] フラグは、入庫でも表示されます。この場合は、購入申請に基づいて初期設定されています。
 - [はい] に設定されている場合は、[納品日] への入力が必要となります。
4. (SAP Ariba Buying and Invoicing を使用している場合) 請求書処理時に、請求書が、[下請法対象] フラグが設定されているオーダーと照合された場合、そのオーダーの受領書すべての中で最短の納品日に基づいて、支払条件と請求書の期日が計算されます。
- [下請法対象] フラグは、購入申請および受領書でレポートすることができます。納品日は、受領書および請求書の支払いでもレポートすることができます。
- [下請法対象] フィールドがサプライヤのインポートに追加されます。また、[納品日] が、受領書および請求書に関連する、csv インポート/エクスポートおよび Web サービス連携イベントに含まれるようになります。



Line Items - Receive by Quantity											
No. ↑	Quantity	Full Description	Unit	Supplier Part Number	Prev. Accepted	Prev. Rejected	Accepted	Rejected	Total Received	Date Delivered	
1	100	Adapter SCSI2 Micro CN50M/CN50F	each	AD1003	0	0	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="0"/>	1	Wed, 10 Jun, 2020	<input type="text" value=""/> *
2	100	SUN/SPARC Printer HD26M/DB25M	each	AD25SPK10	0	0	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="0"/>	1	Wed, 10 Jun, 2020	<input type="text" value=""/> *